

Pearl club

ISE NEWSPAPER LADIES MEETING

vol.23

2024.4

パール通信





パール倶楽部が通常総会&講演会

新役員など決まる

県内のビジネス、芸術文化、ボランティアなどの各分野で活躍する女性らが、異業種交流や自己研さんを通じて社会貢献を目指す「伊勢新聞パール倶楽部」（小笠原まき子会長、50名）は13日、津市羽所町のホテルグリーンパーク津で本年度の「通常総会&講演会」を開き、新役員などを決めました。

議事では、本年度の事業・予算計画や、会長・副会長など新役員についての計6議案を承認しました。

新役員は、

▽顧問 中川千恵子

▽直前会長 小笠原まき子

▽会長 久保敦子

▽副会長 木下慶子、植松悦子、稲垣和美

▽理事 土川禮子、伊藤ふみ代、安藤智子、川浪素子、

水谷令子、田中彩子

▽監査 村田典子（敬称略）

の皆さん。

本年度の事業として、火災被害に遭った鳥羽市の江戸川乱歩館の復興支援金贈呈式があり、同館を運営する鳥羽商工会



小崎則彦課長に久保新会長が目録を進呈



水谷令子名誉教授の講演



会食の様子

議所の小崎則彦課長に久保新会長が10万円の目録を手渡し、中村正人商議所会頭からの感謝状を小崎課長が代読しました。

出席した小林千三伊勢新聞社長のあいさつの後、「シルクロードを旅して知った麺とパンのお話」と題して、同倶楽部理事の鈴鹿大学名誉教授、水谷令子さんが講演。現地での映像を交え、各地の歴史や根付く食文化から麺料理やパンのルーツをひもときながら語りました。

令和5年6月13日



徳川美術館にて

「徳川美術館で研修会」

企画展など見学

名古屋市中秋の研修会を開きました。

会員と小林千三伊勢新聞社社長ら15名が参加。名古屋市中区の徳川美術館の常設展と開催中の企画展「尾張藩と木曾山（徳川義親のまなざし）」を、学芸員の解説を聞いて見学。同館敷地の一角にある会席料理「宝善亭」での昼食を楽しみながら親睦を深めました。

参加者らは、武器や刀剣、茶道具、能装束など尾張徳川家に伝わる大名道具の国宝や重要文化財・美術品の数々を鑑賞。また、同館初代館長で19代当主の徳川義親が木曾山の研究を志し、徳川林政史研究所を開設して100周年を記念した企画展では、木曾山研究の歩みや数々の収集資料を興味深そうに見て回っていました。

四日市市東富田町の武内待子さんは「貴重な品々を見せていただき、メンバーの方々と良い交流ができました」と話されました。

令和5年11月14日



一見知事、小林社長とともに

「知事講演を拝聴」

新春特別例会 賀詞交歓会に参加

津市センターパレスホール（同市大門）で開かれた伊勢新聞政経懇話会で、「県民の生命を守り、三重県人の命を未来へつなぐために」走り続ける三重県庁」と題された一見勝之知事の講演を聴講しました。

「どんなに豊かでも、子どもたちがいなければ未来はない」と述べ、不登校の児童生徒が通うフリースクールへの支援など、子ども施策に努める考えを強調しました。

知事は本年度予算に盛り込んだ「みえ子どもまるごと支援パッケージ」を、来年度予算では「セカンドステージとして打ち出す」と説明。子どもの医療費助成などに努める考えを示されました。「不登校の子どもが全国で増えている」とし、フリースクールへの支援を始める考えも示し、津市で母親の虐待を受けた女兒が死亡した事件を受けた対策も進めると説明。都道府県では初めて、昨年8月に人口減少対策方針を策定したことも紹介。方針に基づき、I・Uターンの促進やジェンダーギャップの解消、子育て環境の改善などに努める考えを示されました。

能登半島地震の被災地支援では、他県に先んじて職員を派



鏡開きで祝賀会の幕開け



前葉市長とともに



中森博文三重県議会議長と



賑やかな会場は宴もたけなわ

遣したとアピール。倉庫の備蓄品を全て送ったり、階級の高い職員を派遣したりして、支援の「一挙投入」に努めていると説明されました。今回の経験を南海トラフ地震の備えに生かす必要性を強調。災害時に市町へ派遣する県職員を事前に決めていることや、津波避難タワーを整備する市町を支援していることなどを紹介されました。

就任から2年4カ月を経た立場として、知事の仕事に対する「個人の感想」も披露。「仕事は本当に大変だが、お世話になった故郷を良くしたいという気持ちだけで務めている」と語り、「役人は決められた仕事をしっかりやるが、知事はやり方を決めるのが仕事」としつつ「知事の仕事は役人の経験を生かせる」と説明。「国に提案することも知事の大事な仕事」と述べられました。行政官の経験を生かした自らの成果として、G7交通大臣会合の誘致や公共事業の予算獲得を上げ、四日市港関連の予算獲得は「（私が）国交省で働いていなければ難しかった」とも語られました。

その後、ホテル津センターパレス伊勢の間に会場を移し、「賀詞交歓会」が行われました。政財界などから約100名が出席、小林社長のあいさつに続き、前葉泰幸津市長の音頭で鏡開き、乾杯が行われ、新春の門出を祝いました。

令和6年1月29日



フレンチ奥村邸にて

「春の犬山城下を散策」

春の研修会

愛知県犬山市で春の研修会を開きました。会員9名が参加。フレンチ奥村邸と犬山城下町を訪れました。

「フレンチ奥村邸」は旧奥村邸【呉服商、奥村氏の屋敷（国の登録有形文化財に登録）を改装したレストランで、江戸後期の犬山城下の豪商の構えを今に伝えています。久保会長のあいさつに続き、本格フレンチの会食を通じ親睦を深めました。中締めの後、城下町を散策し国宝犬山城に登城。晴天にも恵まれ、瑞々しい新緑に心地よい時間を過ごしました。

令和6年4月17日



犬山城城門にて

2024(令和6)年度会費納入のお願い

【振込先】 百五銀行本店営業部 普通 1125648
伊勢新聞社パール倶楽部 会長 中川千恵子
金額(年会費) ￥2,000-

※お手数ですが振込手数料は会員様でご負担いただきますようお願い申し上げます。

※振込先名義は、都合上、前会長の氏名になっております。



伊勢新聞パール倶楽部事務局

〒514-0831 三重県津市本町34番6号

株式会社伊勢新聞社販売部内

TEL: 059 (224) 4400 FAX: 059 (226) 3554

HP: <https://www.isenp.co.jp/plc/>

表紙写真=伊勢新聞政経懇話会新春特別例会「新年のつどい」にて